



## 2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月9日

上場会社名 株式会社ハウテレビジョン 上場取引所 東  
 コード番号 7064 URL https://howtelevision.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 音成 洋介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西塚 慎太郎 TEL 03(6427)2862  
 四半期報告書提出予定日 2020年12月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第3四半期の業績 (2020年2月1日~2020年10月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	662	7.1	△96	—	△98	—	△124	—
2020年1月期第3四半期	618	36.9	68	241.9	59	204.6	33	207.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	△96.94	—
2020年1月期第3四半期	28.30	27.37

(注) 当社は、2019年4月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2020年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年1月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	868	408	46.8
2020年1月期	637	490	76.9

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 406百万円 2020年1月期 490百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	0.00	—
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期 (予想)	—	—	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年1月期の業績予想 (2020年2月1日~2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	971	16.7	△367	—	△370	—	△370	—	△289.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	1,291,200株	2020年1月期	1,267,900株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	69株	2020年1月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	1,279,526株	2020年1月期3Q	1,183,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実施的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社はキャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております

当社の事業領域である人材・就職支援業界においては、2020年9月の有効求人倍率が1.03倍（前年同月は1.57倍。厚生労働省調査）、完全失業率が3.0%（前年同月は2.4%。総務省統計局調査）を記録しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う各種指標の悪化が継続している状況にあります。また、株式会社リクルートキャリアが発表している「就職プロセス調査（2021年卒）」においては、2021年3月大学等卒業予定者の就職内定状況は、当該大学等卒業予定者の就職内定率が88.7%（2020年10月1日現在）と、前年同期を下回る水準で推移しております。一方で、今年度前半の景気後退懸念に対する反動や早期ワクチン開発への期待感、「新しい生活様式」の提唱などにより、市場全体の雇用環境や企業の採用戦略も変わりつつあり、優秀な人材に対する企業の需要は引き続き堅調に推移しております。

当社は、このような事業環境の中で、当事業年度を初年度とする3年間の中期経営計画に基づき、引き続き事業を推進・展開しております。既存事業であるキャリアプラットフォーム事業においては、従来のBtoBモデルに加え、登録会員にサービスを提供するBtoCモデルを開始しております。また、新規事業として、キャリアに限らず「あらゆる」課題を解決する「知見共有プラットフォーム」の構築を構想し、非線形の事業成長を目指します。

また、当社は当事業年度を中期経営計画上の投資フェーズと位置づけており、積極的な投資活動を実施しております。当該投資活動を推進するため、金融機関からの借入により330百万円の資金調達を実施し、事業や人材への投資を実行してまいりました。

当第3四半期会計期間末現在の「外資就活ドットコム」の学生の登録会員数は累計255,939人（前期末比43,903人増）、当第3四半期累計期間における送客数<sup>注1</sup>は398,103人（前年同期比22,230人増）、DAU<sup>注2</sup>数は5,464人（前年同期比1,137人増）となりました。

また、第2新卒市場を中心とした若手ハイクラス層をターゲットとしたリクルーティング・プラットフォーム「Liiga」の当第3四半期会計期間末における登録会員数は48,272人（前期末比17,468人増）、当第3四半期累計期間における月間平均MAU<sup>注3</sup>数は5,019人（前年同期比1,933人増）、マッチング数は8,677人（前年同期比2,714人増）となりました。

なお、本社オフィス移転に伴い旧オフィスで使用していた固定資産につき除却を行ったこと等により、固定資産除却損5,860千円を、また外資就活カフェ2店舗の営業終了に伴う撤退関連費用17,821千円を、それぞれ特別損失に計上しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は662,210千円（前年同四半期比7.1%増）、営業損失は96,481千円（前年同期は営業利益68,746千円）、経常損失は98,114千円（前年同期は経常利益59,042千円）、四半期純損失は124,030千円（前年同期は四半期純利益33,490千円）となっております。

注1 送客：当社のサイトから、クライアントの採用ページまたは募集の応募フォームに送客した数を示しております。

注2 DAU：Daily Active Userの略称であり、1日当たりの当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

注3 MAU：Monthly Active Userの略称であり、1カ月の間に一度でも当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より137,245千円増加し、580,341千円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加64,532千円であります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より93,737千円増加し、288,566千円となりました。主な増加要因は、本社移転に伴う建物附属設備の購入等による建物の増加61,682千円及びソフトウェアの増加に伴う無形固定資産の増加26,997千円であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より205,992千円増加し、351,515千円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加120,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加71,397千円であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より106,780千円増加し、108,854千円となりました。主な増加要因は長期借入金の増加97,765千円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より81,790千円減少し、408,538千円となりました。主な増減要因は、新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ20,318千円増加したこと並びに四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少124,030千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の通期の業績予想につきましては、2020年3月11日公表の「2020年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。なお、現時点においては、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は軽微であると判断しており、現在の業績予想にはその影響を織り込んでおりません。今後の動向を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表をいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	386,911	451,444
売掛金	46,458	57,689
未収還付法人税等	—	10,282
その他	9,900	61,139
貸倒引当金	△173	△213
流動資産合計	443,096	580,341
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,417	87,100
その他	5,479	41,307
有形固定資産合計	30,896	128,407
無形固定資産	52,491	79,488
投資その他の資産		
敷金	110,441	80,470
その他	1,000	200
投資その他の資産合計	111,441	80,670
固定資産合計	194,829	288,566
資産合計	637,926	868,908
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,098	—
短期借入金	—	120,000
1年内返済予定の長期借入金	—	71,397
未払法人税等	25,189	—
前受金	63,371	76,270
撤退関連費用引当金	—	3,093
その他	53,862	80,754
流動負債合計	145,522	351,515
固定負債		
長期借入金	—	97,765
資産除去債務	932	8,606
繰延税金負債	1,141	2,483
固定負債合計	2,074	108,854
負債合計	147,596	460,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	205,584	225,902
資本剰余金	201,584	221,902
利益剰余金	83,159	△40,871
自己株式	—	△166
株主資本合計	490,329	406,767
新株予約権	—	1,771
純資産合計	490,329	408,538
負債純資産合計	637,926	868,908

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	618,371	662,210
売上原価	137,312	184,759
売上総利益	481,059	477,451
販売費及び一般管理費	412,313	573,933
営業利益又は営業損失(△)	68,746	△96,481
営業外収益		
受取利息	2	5
受取手数料	—	7
営業外収益合計	2	12
営業外費用		
支払利息	303	1,395
支払手数料	5,601	250
株式交付費	3,801	—
営業外費用合計	9,705	1,645
経常利益又は経常損失(△)	59,042	△98,114
特別利益		
固定資産売却益	—	181
特別利益合計	—	181
特別損失		
固定資産除却損	—	5,860
撤退関連費用	—	17,821
特別損失合計	—	23,682
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	59,042	△121,615
法人税、住民税及び事業税	24,818	1,074
法人税等調整額	733	1,341
法人税等合計	25,552	2,415
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,490	△124,030

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。